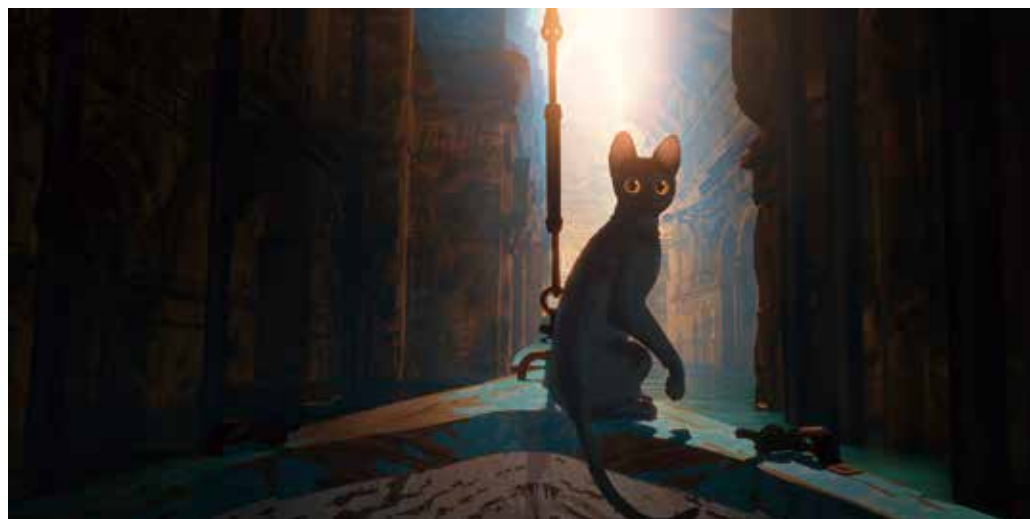


三鷹の森アニメフェスタ 2026

三鷹市芸術文化センター
星のホール

アニメーション古今東西 その22



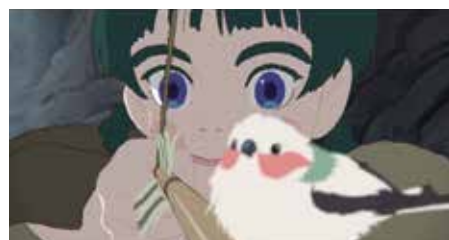
『Flow』

©Dream Well Studio, Sacrebleu Productions & Take Five.



© Ice_Merchants

『Ice Merchants』



© 2018 Kiyotaka Oshiyama/DURIAN Inc.

『SHISHIGARI』

第一部 短編映画上映「絆を描くアニメーション」 10:30~13:00頃

第二部 長編映画『Flow』特別上映 14:30~17:00頃
作家/イラストレーター ぬまがさワタリさん トークショー

◆ 招待者数

第一部、第二部ともに220人程度をご招待（1組4人まで、三鷹市外在住者は1組2人まで）。

第一部、第二部共に当日券あり（各30人程度 先着順）。

※申し込み方法詳細は3面へ

入場
無料

※事前申し込み制
若干当日券あり

10:30~17:00頃
3月7日(土)



第24回 インディーズ アニメフェスタ

入場
無料

※席数に限り
があります

ノミネート作品上映と表彰式

●三鷹市の小学生が制作したアニメ作品も上映

市民審査員募集 当日直接会場へ

Illustration: SPACEMANSHIP

13:00開場
13:30開会
3月8日(日)

会場：三鷹市芸術文化センター

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-12-14

交通アクセス
JR三鷹駅南口②番バス乗り場から3つ目「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。または⑤⑥⑦番バス乗り場から「八幡前」下車1分。または徒歩約15分。



アニメーション古今東西 その22

主催：三鷹市／企画・協力：三鷹の森ジブリ美術館

第24回 インディーズアニメフェスタ

主催：三鷹市／インディーズアニメフェスタ実行委員会

協賛：株式会社ボンデデジタル

協力：宇津本 直紀 (ex.DEEN)

※両日とも手話通訳あり(事前申込不要)

3月7日(土) アニメーション古今東西 その22

毎年恒例、三鷹の森ジブリ美術館が厳選する
古今東西の傑作アニメーションを上映します。
アニメーションの面白さと奥深さをお楽しみ下さい。

◆ 日時：2026年3月7日(土曜日) 10:30~17:00頃
【第一部】10:30~13:00頃
短編映画上映「絆を描くアニメーション」
【第二部】14:30~17:00頃
長編映画『Flow』特別上映
作家/イラストレーター ぬまがさワタリさんトークショー

第一部 短編映画上映 テーマ「絆を描くアニメーション」

10:30~13:00頃

世界中の傑作短編アニメーションの中から、親と子、他者との関わりの中で、人が成長していく姿を描いた作品をラインナップしました。言葉にしきれない感情や心の揺れを、アニメーションならではの表現で丁寧に映し出します。

◆ 上映作品(年代順)



© Fabulous Fleischer Cartoons Restored

Somewhere in Dreamland

(1936年/アメリカ/Dave Fleischer/9分)

幼い兄と妹は、貧しい母のために薪を集めて家へ持ち帰る。質素な夕食を終えて眠りについた二人は、やがて夢の世界へと誘われていく。そこには、アイスクリームのコーンが立ち並び、ポップコーンの煙が広がり、チョコレートシロップの川がゆったりと流れていた。



© 1979 National Film Board of Canada - All rights reserved

Every Child

(1979年/カナダ/Eugene Fedorenko/6分)

生まれながらにして行き場を失った赤ん坊が、大人たちの手から手へと渡されながら、次々と異なる家を巡っていく。「すべての子どもには、名前と国籍を持つ権利がある」という普遍的なメッセージを描いた作品。



© Channel Four Television Corporation MCMXCVI

Wat's Pig

(1996年/イギリス/Peter Lord/11分)

生まれたその瞬間に引き離された二人の王子。別々の運命を歩んできた彼らは、国を揺るがす危機をきっかけに思いがけず再会することになる。画面分割の手法を用いて二人の人生を同時並行に描き出す、視覚的にも印象的な作品。



© 2015 Schwizgebel

Erlkönig

(2015年/スイス/Georges Schwizgebel/5分)

父と息子が森を駆け抜けていく。病に侵された子どもは、魔王の姿を見たと思ひ込み、その妖しい誘惑と恐怖にとらわれていく。ゲーテの詩「魔王(エルケーニヒ)」と、シューベルト/リストの音楽に基づく作品。



© Interfilm Berlin/Dina Velikovskaya

Ties

(2019年/ドイツ、ロシア/Dina Velikovskaya/7分)

親と子のあいだには、切り離すことのできない強い結びつきがある。ひとりの若い女性が、親元を離れて外の世界へ踏み出そうとしたとき、その一歩は自由への旅立ちであると同時に、親の世界そのものを大きく揺るがす出来事でもあった。



© 2018 Kiyotaka Oshiyama/DURIAN Inc.

SHISHIGARI

(2019年/日本/押山清高/17分)

北国の山深く、山の恵みを授かり、生きてきた人々がいる。年頃になった少年は、初めての狩りをしに山奥へと足を踏み入れた。目指す獲物は「クロシシ」。山は生と死が紙一重にある世界。時として自然は牙をむく…。



© FAMU & MAUR film

Daughter

(2019年/チェコ共和国/Daria Kashcheeva/15分)

病院の一室で、娘は幼い頃のある記憶を思い出す。それは彼女が子どもの頃、傷ついた鳥との体験を父と分かち合おうとした瞬間だった。誤解と、交わされなかった抱擁の記憶は、長い年月を経て、この病室にまで引き延ばされてきた。そして、小さな鳥をめぐる出来事が、父と娘の時間を静かに揺り動かしていく。



© Ice_Merchants

Ice Merchants

(2022年/ポルトガル/João Gonzalez/14分)

父と息子は毎日、断崖に取り付けられた目もくらむほど高い場所にある極寒の家から、パラシュートで飛び降りる。彼らは地上のはるか彼方にある村へ向かい、日々作り続けている氷を売りに行くのだ。第95回アカデミー賞短編アニメーション部門ノミネート作品。



© 2024 Kanako Sakurai

ブルースのステップ

(2024年/日本/櫻井嘉那子/3分)

作者自身の実体験から生まれた物語。祖母との日々を振り返りながら、ひとつひとつの体験を「記録」として映像に残していく。三鷹の森アニメフェスタ 第23回インディーズアニメフェスタ審査員賞受賞作品。

入場
無料

◆ 申込み方法 ※ ①か②のいずれかで2月12日(木)(必着)までにお申込みください。

※ 1組4人まで、三鷹市外在住者は1組2人まで。

① インターネットでの申込方法 申し込みフォーム(右記QRコード)から必要事項をご入力ください。

② はがきでの申込方法 以下必要事項をご記入の上、お申込みください。

住所・代表者の氏名(年齢、フリガナ)・人数・電話番号・希望する部(第一部・第二部のいずれか)を記入。

1枚のハガキに1希望プログラムまで。同じ部の複数の申し込みは無効。申し込み多数の場合は抽選。

◆ 申し込み先: 〒181-8555 東京都三鷹市野崎一丁目1番1号三鷹市 スポーツと文化部 芸術文化課

※当選者には2月18日(水)以降招待状発送予定。招待状の発送をもって発表とします。

(※電話などによる当落の確認は受けておりません)

◆ 当日券: 第一部・第二部とも30人程度 ※各部開演の1時間前から整理券を配布します(1人1枚。先着順)



申し込みフォーム

第二部

長編映画『Flow』 特別上映 作家/イラストレーター ぬまがさワタリさんトークショー

14:30~17:00頃



©Dream Well Studio, Sacrebleu Productions & Take Five.

『Flow』

(2024年/ラトビア、フランス、ベルギー/Gints Zilbalodis/85分)

世界が大洪水に包まれ、今にも街が消えようとする中、ある一匹の猫は居場所を後に旅立つ事を決意する。流れて来たボートに乗り合わせた動物たちと、想像を超えた出来事や予期せぬ危機に襲われることに。しかし、彼らの中で少しずつ友情が芽生えはじめ、たくましくなっていく。彼らは運命を変える事が出来るのか?そして、この冒険の果てにあるものとは—?

アカデミー賞、ゴールデングローブ賞をはじめ、世界の映画祭で60以上の受賞に輝く2025年を代表するアニメーション映画。

50人以下のスタッフという極めてインディペンデントな体制で制作され、アニメーション映画史を変える快挙を成し遂げた。

上映後は、『Flow』に感銘を受けたという作家、イラストレーターのぬまがさワタリさんをゲストに迎え、トークショーを開催します。

司会・聞き手は、フリーアナウンサーの小島一宏さんです。

ぬまがさワタリさん



いきものとカルチャーを愛する作家/イラストレーター。

著作に『ゆかいないきもの図鑑』(西東社)『いきものニュース図解』(光文社)など多数。

国立科学博物館「特別展 鳥」ではイラスト図解を担当した。ブログ『沼の見える街』には映画やアニメのレビューも掲載。



© NUMAGASA Watari

未知なる感動・可能性を追求したアニメーション作品に出会おう！

3月8日(日) 第24回 インディーズアニメフェスタ

インディーズアニメフェスタでは、全国のアニメーション作家たちが作ったさまざまな作品を上映し、その中からプロの審査員がグランプリを選びます。また、上映会に参加された方は「市民審査員」として、好きな作品を選んで投票できます。もっとも人気があった作品は「市民審査員賞」に選ばれます。

また、三鷹市の小学生が授業で制作したアニメーション作品を上映します。

- ◆ 主催：三鷹市／インディーズアニメフェスタ実行委員会
協賛：株式会社ボーンデジタル 協力 宇津本 直紀 (ex.DEEN)
- ◆ 賞：グランプリ(1点) 賞金10万円・賞品
審査員賞(2点) 賞品
市民審査員賞(1点) 賞品

申込
不要入場
無料

ノミネート作品は、2月中旬ごろ
公式ホームページにて公開予定

- ◆ 公式サイト
<https://iafesta.jimdofree.com/>

市民審査員
募集!

当日直接会場へ
審査に参加いただいた方には、
インディーズアニメフェスタ
オリジナル缶マグネットを
プレゼントします。



▲ 前回の表彰式の様子



illustration:SPACEMANSHIP

◆ タイムテーブル (予定) ◆

- 13:00 開場
- 13:30 開会
- 13:40 ノミネート作品上映開始
- 15:15 休憩
- 15:25 アニメフェスタテーマソング紹介
- 15:30 小学生制作のアニメ作品上映*
- 15:40 表彰式
- 16:00 閉会

※三鷹市の小学生によるアニメ制作作品を上映します。

前回の受賞作品 (※今回の上映作品ではありません)

グランプリ



「ヨビとアマリ」比留間 未桜

市民審査員賞



「まよなかの探しもの」武田 明香里

審査員賞



「ブルースのステップ」櫻井 嘉那子

審査員賞

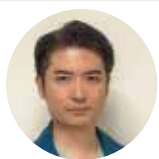


「PICTO」蓬田 悠太

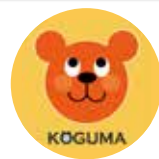
◆ 審査員 ◆

三上 浩司
(Mikami Koji)

東京工科大学メディア学部教授、学部長。日商岩井株式会社を経て株式会社エムケイにプロデューサーとして参加。1998年に東京工科大学にて「クリエイティブ・ラボ」を設立。現在はアニメやゲームの制作手法の研究開発と実証制作を行う。博士(政策メディア)

春日森 春木
(Kasugamori Haruki)

アニメーション監督。CM制作会社で映像制作に携わった後、2007年アニメ「猫ラーメン」にてアニメーションの世界に入る。短編ギャグアニメを中心に、様々な媒体に発信しつつ、近年では「ぶにるんず ぶに3」「殿と犬」「アストロノット」を監督。

こぐま あつこ
(Koguma Atsuko)

アニメーション作家。グラフィックデザイナーを経てアニメーションの世界へ転身。現在は、TV-CMやTVシリーズ、子ども向け作品など、さまざまなアニメーションを手がけている。企画・脚本・監督・人形制作・イラストレーションなどにも携わり、幅広い表現方法を活かした作品づくりを行う。日本アニメーション協会(JAA) 副会長。

伊藤 望
(Ito Nozomu)

三鷹の森ジブリ美術館 学芸員。多摩美術大学美術学部卒業。1998年スタジオジブリにアニメーターとして入社。「ホーホケキョ」との山田くん「千と千尋の神隠し」などに参加。2015年より三鷹の森ジブリ美術館学芸に配属。ジブリ作品の収蔵保存、アニメーション文化の調査研究を担当。